

ATTENTION

資産運用の本当の姿は、超大型客船の航行



世界最大の客船アルア・オブ・ザ・シーズ(22万5000トン)とエンジンルーム

この船は、世界最大の客船です。この船に乗っていれば、何の心配もなく、ゆったりと長い航海を満喫できるでしょう。何日か過ごしていれば、陸にいないのと変わらない錯覚にも陥るでしょう。皆さんはお客様として、まるでホテルのような船室で過ごしたり、劇を見たり、おいしい食事をしたり、プールサイドで日光浴をしたり、読書室で本を読んだりしながら、ゆったりと過ごしているのです。しかし船の下では、さまざまな機械がフル回転、発生する音はゴーゴーと凄まじいものがあるでしょう。そして着実に前進を続けます。この大型客船が航海を続ける姿は、まるで最大限世界に広く分散されたポートフォリオのようなものです。ポートフォリオ自体は静かそのもので、動いていないように見えますが、組入れられた多くの銘柄がフルに自分の役割を果たして稼働していると言ってよいでしょう。ところが多くの人が、資産運用で、ヨットか小船に乗って揺られているという状況なのです。この差は非常に大きいです。皆さんもぜひ、今年は人生の安全な航海をするために、大型客船に乗るスタンスで資産運用するとよいでしょう。しかもこの大型客船は、乗ろうと思えばだれでも乗れる船なのです。

COLUMN

今年の日本株式市場を見る着眼点

今年の日経平均の高値予想が年始にたくさん出てきましたが、このような予想を参考にするのは、占いのようなものです。日本株市場を見る上でもっと大事な着眼点は、まずマクロでは、構造改革、規制撤廃、年金・医療などで痛みを伴う改革、財政再建がどれだけ進むかを見極めることです。これらに真剣に取り組まない限り、株式市場の持続的上昇は期待できないと見て、間違いないでしょう。

銘柄選択では、長期にわたって持続的に業績を伸ばしていける会社を選ぶということです。決してチャートを見たり、信用倍率を見たり、短期的な株価の動きを見て投資したりしてはいけません。墓穴を掘るだけです。そして自社株買い、増配を続け、株主持分を減らす増資をしないなど、株主を重視する会社に投資することです。株の持ち合いをしている会社は、一般株主を見ていない証拠ですから、選択肢から排除しましょう。こうみると、銘柄選択はきわめてシンプルに、しかも的確に出来るのです。

企業は性悪説で見るのが、投資家として妥当です。連続するデータ不正、欠陥製品の隠蔽、連続と続く談合などを見れば、規律の緩んだ状態、モラルが低い体質がはっきり浮かび上がります。われわれ投資家が企業をきびしく選択し、淘汰させていく役割を果たさなければ、こういった企業の不正はなくならないでしょう。日本企業の競争力の劣化がここ数年顕在化しているのは、こういうところに根ざしているのです。決して楽観的に見てはいけません。この競争力劣化は、これから加速していくと見たほうがよいでしょう。

MARKET

(12月末)	(11月末比)
日経平均	
22,764.94円	+39.98円 (+0.2%)
NYダウ	
24,719.22ドル	+446.87ドル (+1.8%)
米ドル	
112.64円	+0.04円 (+0.0%)

今月の言葉:

- ・使った後に残ったものを貯めるな。貯めたあとに残ったものを使え。
- ウォーレン・バフェット(9兆円の資産を持つ大富豪)
- ・1ペニー貯めれば、1ペニー稼いだのと同じだ。
- ベンジャミン・フランクリン

官僚は「自分たちがやらなければ」と思わず、一歩引け！

2017年は安倍一強がますます鮮明になった年でしたが、政権が落ち着いていることを拠り所に、居心地のいい思いをしているのが中央の官僚です。居心地がいいだけでしたら、国民は関知しませんが、日本経済や国民生活という面で、足を引っ張る傾向が強くなっています。このことは、日本の将来にとって看過できない大変重要な点です。

小泉政権や第2次安倍政権初期のころは、規制撤廃・構造改革、財政再建が重要テーマとして掲げられていましたが、教育費無償化、消費税導入延期、基礎的財政収支の黒字化延期、公共投資拡大と、先祖帰りしたような状況です。こういう状況になると、官僚たちは自分たちの出番と見て、省益を確保しようと水を得た魚のように生き生きしてきます。

このような官僚の動きが、我々民間にとってよければ問題ないのですが、そうっていないのです。彼らの頭にあるのは、自分たちがしっかりやらないと、民間はうまく動かないと言う意識です。いわゆる「お上の発想」ですが、それがうまくいった試しはありません。「国益」と言う面が、お上の目線から出てきますので、世界の激しいビジネス競争というスピード感はなく、かえって足を引っ張ってしまうわけです。そのいい例が、今回の東芝。最初は「国益」の立場で買収の選定先に影響力を保とうとしていましたが、外資を巻き込んだ買収先が二転三転するうちに、どこが買収しても一部出資する、ただいるだけの殿様的な存在になってしまったのです。

官僚の悪い気質として、自分の省の縄張りをしっかり確保しようとする本能が働き「あそこがやったらうちも」という行動

パターンがよく見られます。そのいい例が省ごとに10以上林立した官民ファンド。産業革新機構を含め、投資成果は散々、天下りの給料など固定費が垂れ流しになる始末です。それでも懲りずに翌年度の予算要求をするのでからあきれます。恐いのは、官僚が一度組織をつくと、その組織はなかなかなくなるということです。商工中金は経済産業省が監督する政府機関ですが、トップは代々経済産業省から天下り、一時民営化が遡上に上りましたが、官の圧力で立ち消え。民間緊急融資枠を消化するため、組織的に、正常先へも書類を書き換えて融資枠をこなしていたというのです。組織解体に値する悪行ですが、経済産業省は、天下り先確保のため、何とか存続させたいようです。

これを民間から見ると、おそろしい状況が浮かび上がってきます。民間が常に官の顔色をうかがいながら、ビジネスをするようになるということです。となると、グローバルな競争の中で、自主独立、自由闊達な精神で世界の企業と戦っていかねばならない中で、日本の企業の動作が大変遅くなるということです。そういう面は民のさまざまな面で見えます。たとえば防衛などで官とのつながりが深い三菱重工、旧電電依存体質のNECや富士通、金融庁の手取り足取りでいまや世界での存在感が薄いメガバンクなどは、こういった官が足を引っ張るやり方で、競争力を失ったと言ってよい企業群です。

官が何にでも口を挟む悪弊は、長期的になくしていかななくてはならない大きな問題です。

SEMINAR

大幅刷新！びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのには大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年近い投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！



びとうファイナンシャルサービス 代表 尾藤 峰男

日時： 2018年1月27日(土) 15:00～17:00

場所： 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「1月27日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。
メール： info@bfsc.jp Tel： 03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス株式会社

電話：03-6721-8386

携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072

電子メール：info@bfsc.jp